

# 2017 年次報告書

Ukai  
Rehabilitation  
Hospital

# 目次

---

◆ ご挨拶	1
◆ 年間入院数	2
◆ 年間退院数	2
◆ 疾患別入院数	3
◆ 入院平均年齢・男女比	4
◆ 疾患別男女比・平均年齢	5
◆ 発症から入院までの期間	6
◆ 紹介から入院までの期間	7
◆ 平均入院期間	8
◆ 退院先	9
◆ 改善度 (FIM 利得)	10
◆ 日常生活機能評価 (B 項目)	12
◆ 平均 1 日入院数	13
◆ 入院リハビリテーション単位数	14
◆ 摂食機能療法と栄養	14
◆ 通所リハ要介護度利用者比率	15
◆ 通所リハ利用者数	16
◆ 言語聴覚部門	17
◆ 作業療法部門 (できる FIM の改善の変化)	21
◆ 理学療法部門	22
◆ 転倒について	23
◆ 入院前居住地 (2017 年)	25

## ご挨拶

鵜飼リハビリテーション病院長

**鵜飼 泰光**

鵜飼リハビリテーション病院は、150床全床が回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰを取得する、単科病院です。

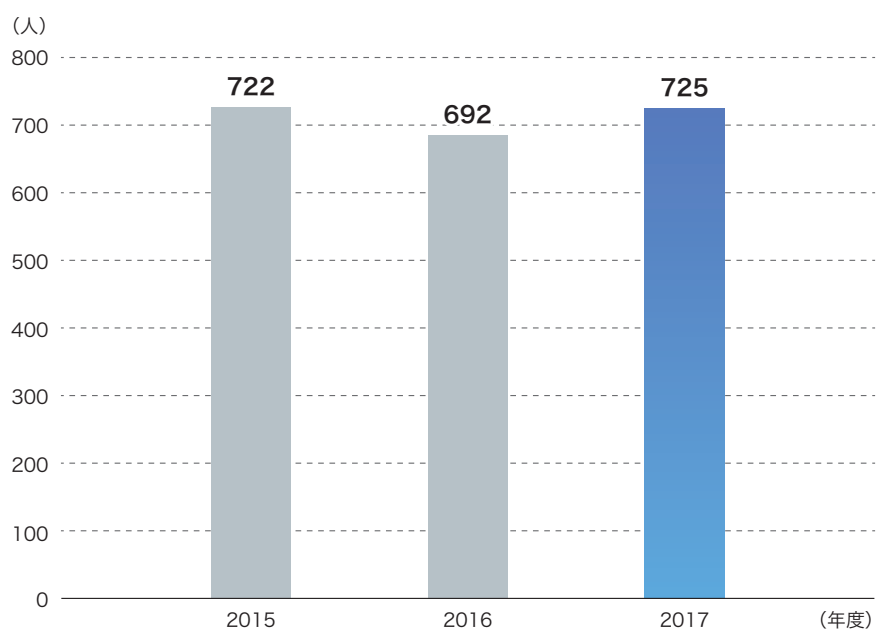
急性期病院から、脳卒中、大腿骨頸部骨折などにより障害を負われた患者さんをご紹介いただき、1日も早い機能障害の改善とADLの自立を目指して回復期のリハビリテーションを提供しています。患者さんの多くは名古屋市内の病院からのご紹介であり、約80%が在宅復帰されています。

この度、2015～2017年の退院患者さんのデータをまとめました。

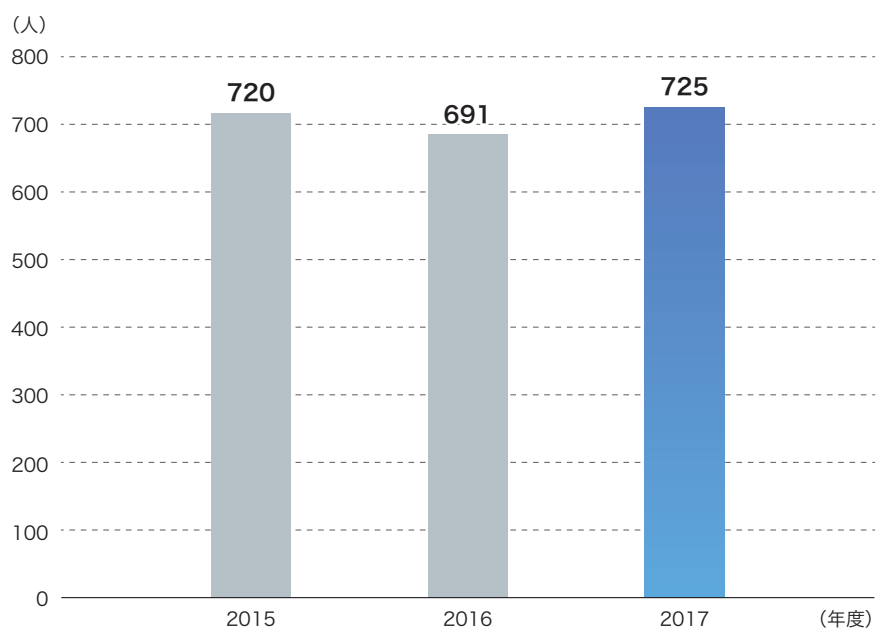
我が国では、医療は1つの病院で完結するのではなく、機能分化した病院が互いに連携し、その先の在宅復帰へと病診連携を進めます。また、退院後できる限り住み慣れた自宅へ帰って生活するために、地域包括ケアシステムの構築が急がれています。当院は、医療連携の中で回復期リハビリテーション病棟としての役割を果たし、質の高いリハビリテーションを提供するとともに、退院後の患者さんへはデイケア・訪問リハビリテーションを生活期リハビリテーションとして提供していきます。

これからも、患者さんが安心して自宅で暮らせるよう、急性期病院、診療所、ケアマネジャー、介護事業者、行政との連携を密にして、地域包括ケアシステム構築に努力していきます。

## 年間入院数

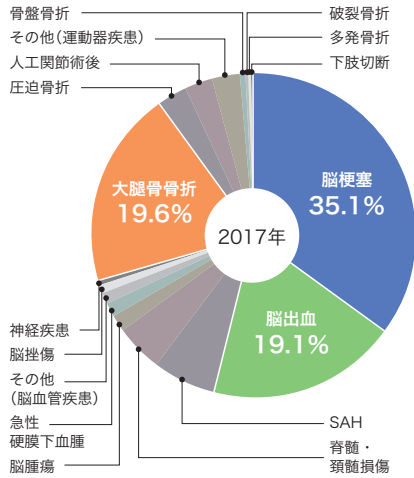


## 年間退院数

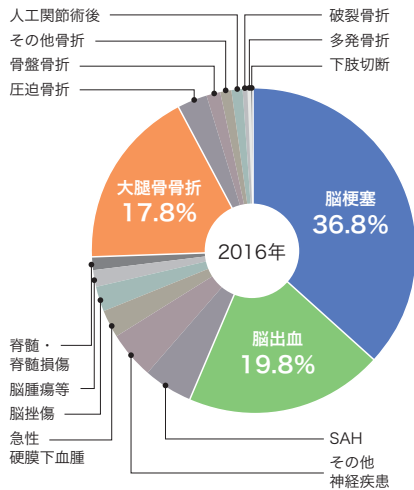




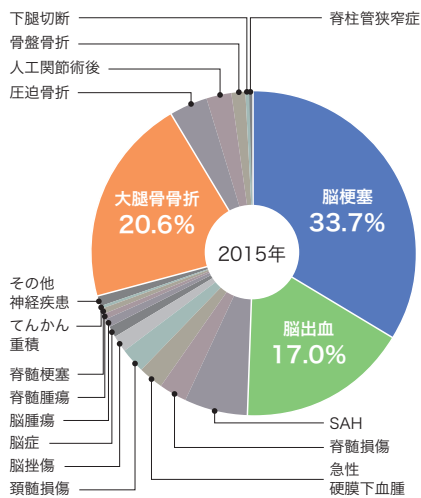
# 疾患別入院数



	[人]	[%]
脳梗塞	254	35.1
脳出血	138	19.1
SAH	47	6.5
脊髄・頸髄損傷	34	4.7
脳腫瘍	11	1.5
急性硬膜下血腫	10	1.4
その他	9	1.2
脳挫傷	6	0.8
神経疾患	3	0.4
<b>脳血管疾患</b>	<b>512</b>	<b>70.7</b>
大腿骨骨折	142	19.6
圧迫骨折	22	3.0
人工関節術後	20	2.8
その他	19	2.6
骨盤骨折	5	0.7
破裂骨折	2	0.3
多発骨折	1	0.1
下肢切断	1	0.1
<b>運動器疾患</b>	<b>212</b>	<b>29.2</b>



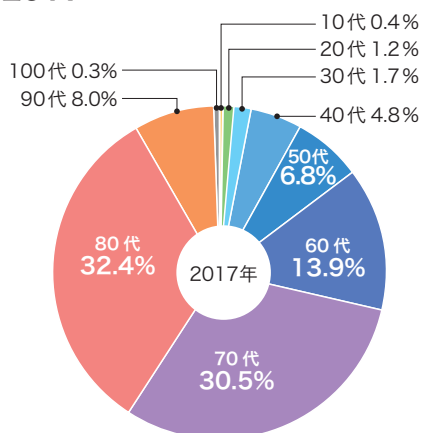
	[人]	[%]
脳梗塞	251	36.8
脳出血	137	19.8
SAH	36	5.2
その他神経疾患	32	4.6
急性硬膜下血腫	19	2.7
脳挫傷	18	2.6
脳腫瘍等	11	1.6
脊髄・頸髄損傷	10	1.4
<b>脳血管疾患</b>	<b>514</b>	<b>74.7</b>
大腿骨骨折	123	17.8
圧迫骨折	22	3.2
骨盤骨折	9	1.3
その他骨折	8	1.2
人工関節術後	7	1.0
破裂骨折	4	0.5
多発骨折	3	0.4
下肢切断	2	0.2
<b>運動器疾患</b>	<b>178</b>	<b>25.6</b>



	[人]	[%]
脳梗塞	240	33.7
脳出血	121	17.0
SAH	45	6.3
脊髄損傷	21	2.9
急性硬膜下血腫	17	2.4
頸髄損傷	17	2.4
脳挫傷	13	1.8
脳症	8	1.1
脳腫瘍	6	0.8
脊髄腫瘍	4	0.6
脊髄梗塞	3	0.4
てんかん重積	3	0.4
その他神経疾患	8	1.1
<b>脳血管疾患</b>	<b>506</b>	<b>70.9</b>
大腿骨骨折	147	20.6
圧迫骨折	27	3.8
人工関節術後	17	2.4
骨盤骨折	11	1.5
下肢切断	3	0.4
脊柱管狭窄症	2	0.3
<b>運動器疾患</b>	<b>207</b>	<b>29.0</b>

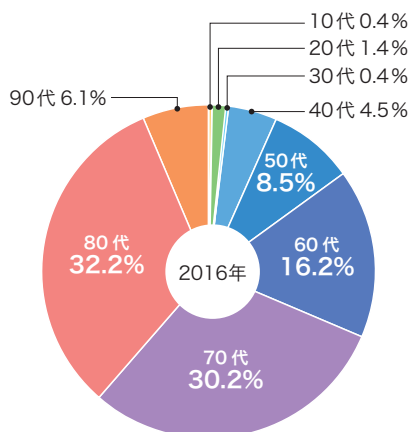
## 入院平均年齢・男女比

### ◆ 2017



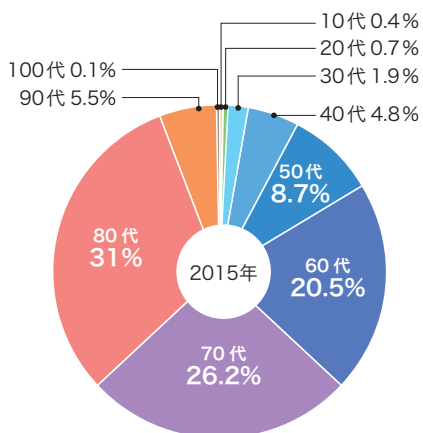
入院平均年齢	73.7
男女比	男性 366 名 女性 359 名
性別平均年齢	男性 70.5 歳 女性 77.0 歳
最高年齢	101 歳
最年少	11 歳

### ◆ 2016



入院平均年齢	73.3
男女比	男性 355 名 女性 337 名
性別平均年齢	男性 69.3 歳 女性 77.5 歳
最高年齢	98 歳
最年少	12 歳

### ◆ 2015



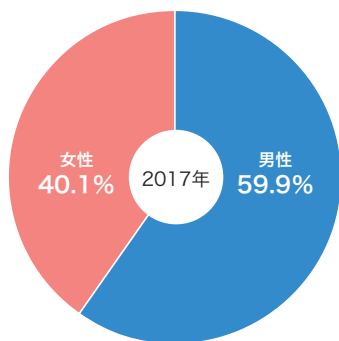
入院平均年齢	72.3
男女比	男性 389 名 女性 333 名
性別平均年齢	男性 68.4 歳 女性 76.8 歳
最高年齢	100 歳
最年少	11 歳

# 疾患別男女比・平均年齢

## ◆ 脳血管疾患

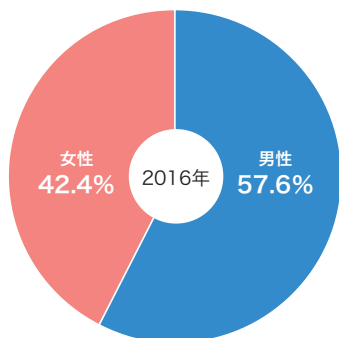
2017年度 512名

脳血管平均年齢	70.6歳
男性平均年齢	69.5歳
女性平均年齢	72.4歳



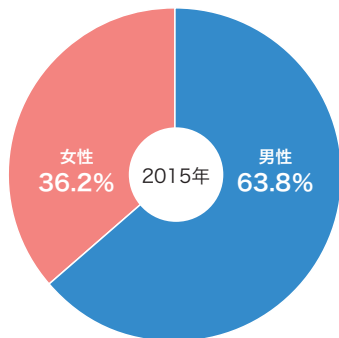
2016年度 514名

脳血管平均年齢	70.9歳
男性平均年齢	68.4歳
女性平均年齢	74.3歳



2015年度 506名

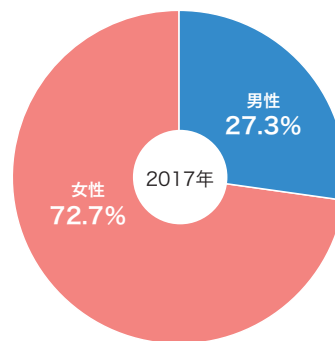
脳血管平均年齢	69.3歳
男性平均年齢	67.3歳
女性平均年齢	72.9歳



## ◆ 運動器疾患

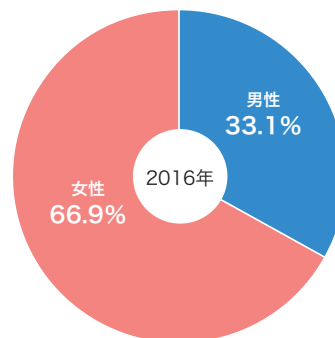
2017年度 212名

運動器平均年齢	80.4歳
男性平均年齢	74.7歳
女性平均年齢	82.6歳



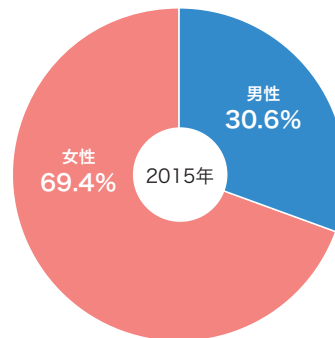
2016年度 178名

運動器平均年齢	80歳
男性平均年齢	73.8歳
女性平均年齢	83.1歳



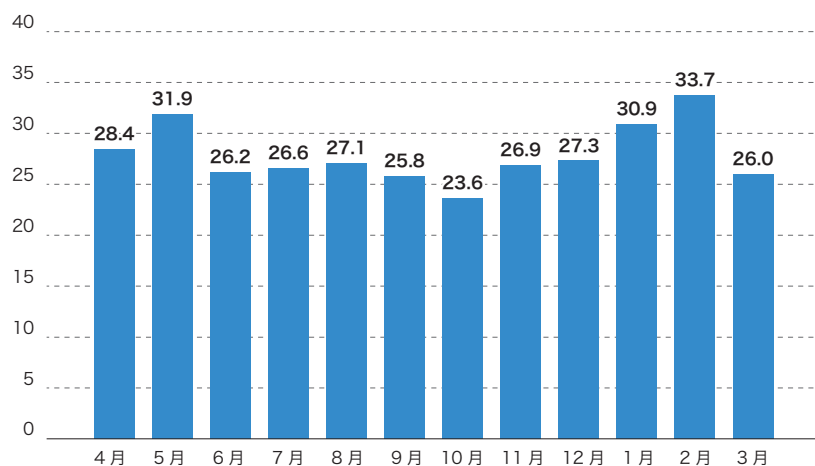
2015年度 216名

運動器平均年齢	79.3歳
男性平均年齢	74.1歳
女性平均年齢	79.3歳

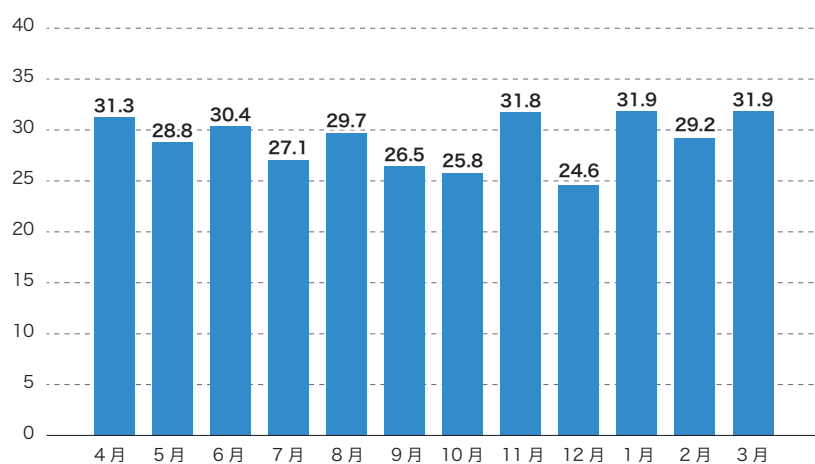


## 発症から入院までの期間

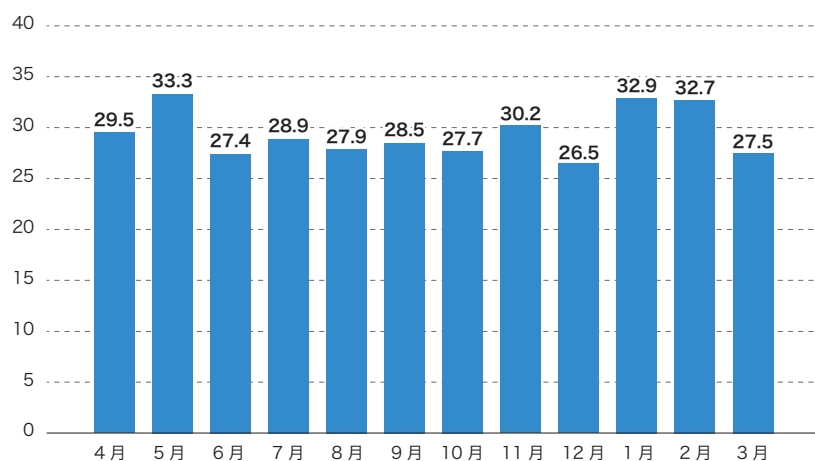
### ◆ 2017年度 年間平均 27.9(日)



### ◆ 2016年度 年間平均 29.1(日)



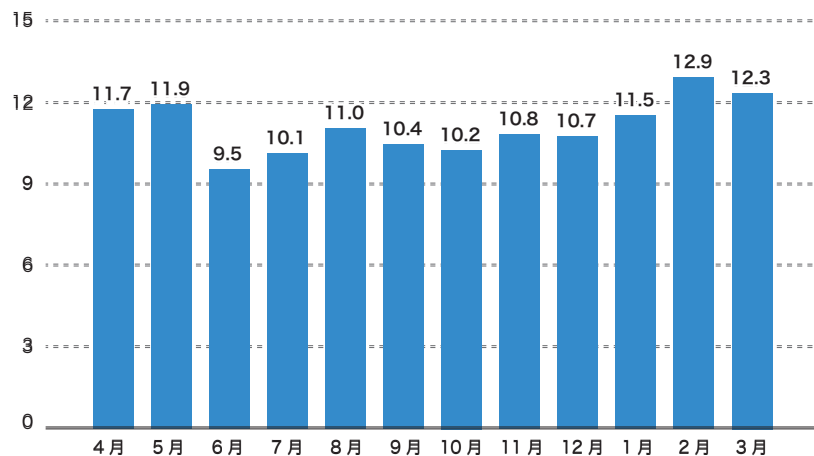
### ◆ 2015年度 年間平均 29.4(日)



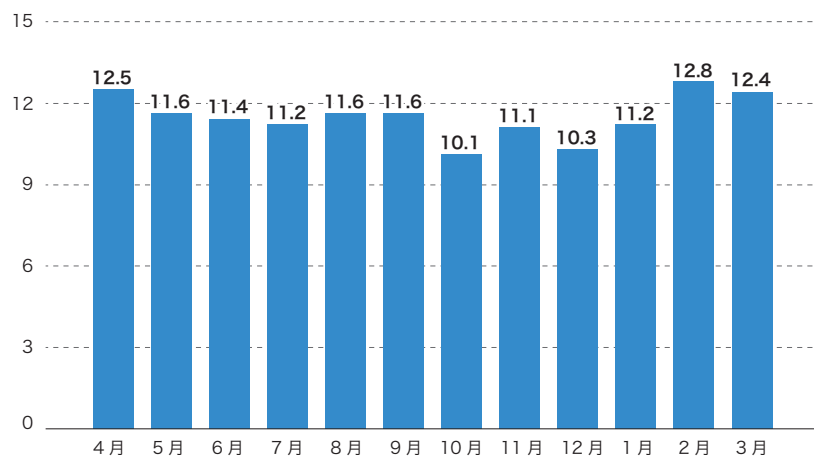


## 紹介から入院までの期間

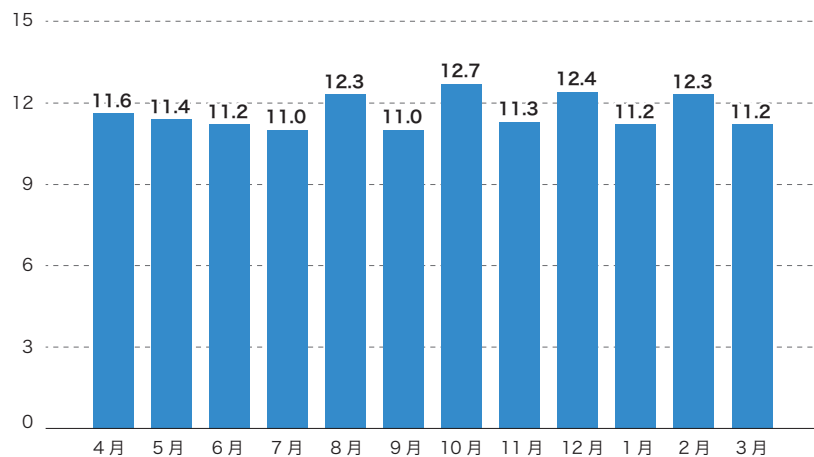
### ◆ 2017年度 年間平均 11.1(日)



### ◆ 2016年度 年間平均 11.5(日)

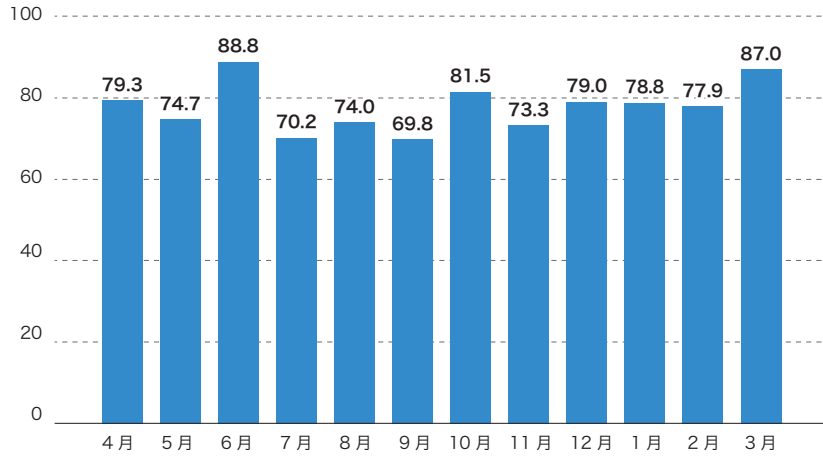


### ◆ 2015年度 年間平均 11.6(日)

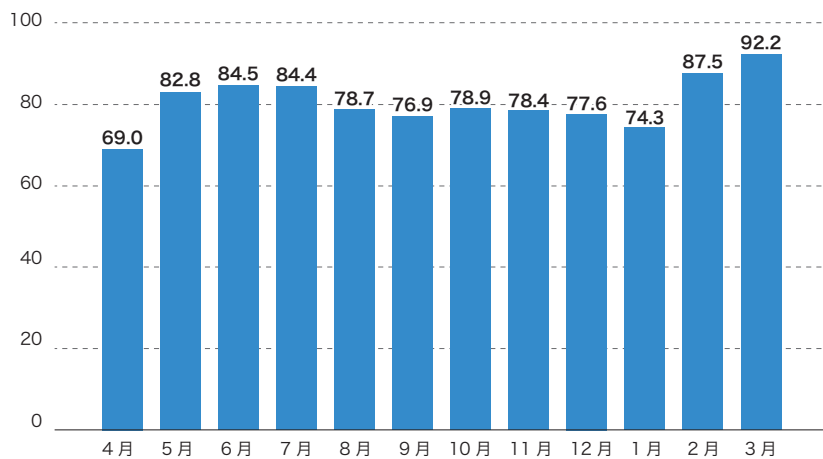


## 平均入院期間

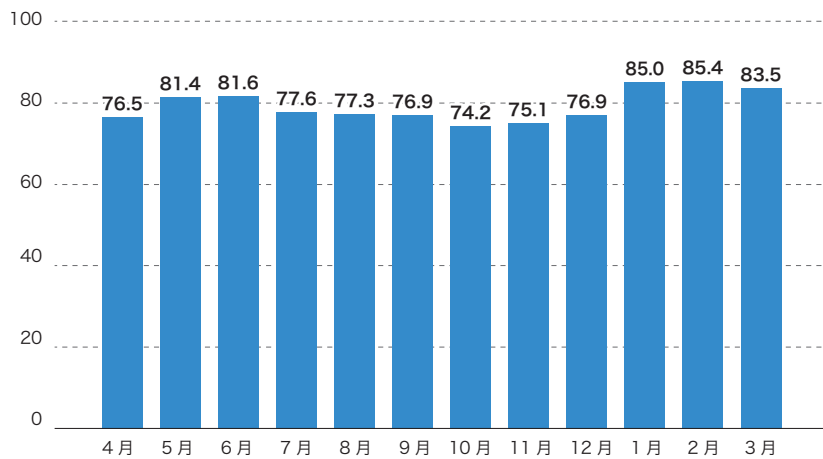
### ◆ 2017年度 年間平均 77.9(日)



### ◆ 2016年度 年間平均 80.4(日)

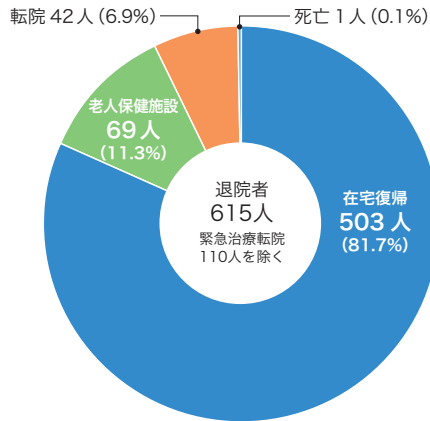


### ◆ 2015年度 年間平均 79.3(日)

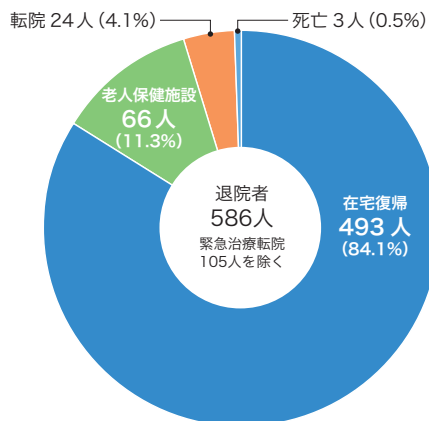


# 退院先

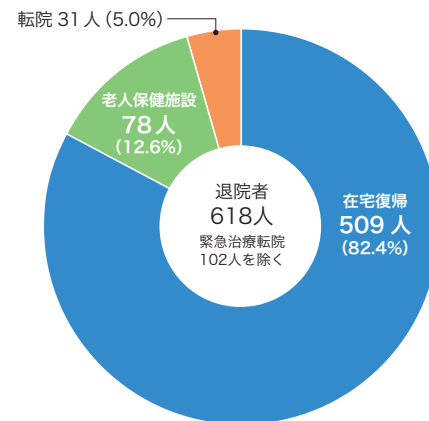
## ◆ 2017



## ◆ 2016



## ◆ 2015



### 緊急治療転院内訳

	[人]
脳梗塞・出血再発	17
消化器疾患	12
肺炎	12
心不全	11
骨折（再手術含む）	8
胃瘻造設	5
発熱・炎症反応高い	5
がん治療	4
貧血	3
慢性硬膜下血腫	3
尿路感染	2
感染症悪化	2
バクロフェン治療	2
蜂窩織炎	2
骨入れ	2
痙攣	2
血圧変動	2
急性硬膜下血腫	2
水頭症	1
てんかん	1
その他	12
計	110

総退院者数 725人

### 緊急治療転院内訳

	[人]
脳梗塞・出血再発	25
消化器疾患	17
肺炎	12
胃瘻造設	8
水頭症	7
骨折（再手術含む）	6
てんかん	4
心不全	2
呼吸器疾患	2
尿路感染	2
その他	20
計	105

総退院者数 691人

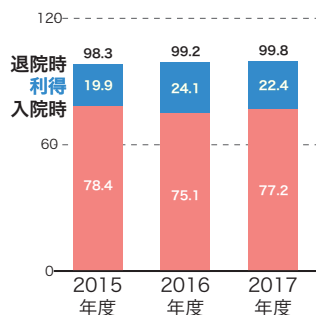
### 緊急治療転院内訳

	[人]
胃瘻	5
尿路感染	2
発熱	3
痙攣	2
呼吸状態悪化	2
骨折	7
再発（疑い含む）	18
肺炎	13
消化管出血	2
心不全	3
水頭症	4
脱水	3
手術目的	10
精査目的	6
その他	22
計	102

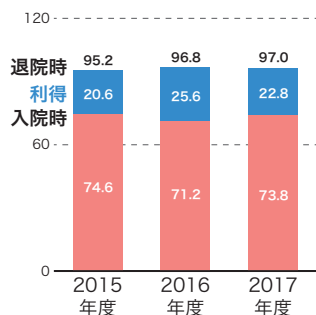
総退院者数 726人

# 改善度 (FIM 利得)

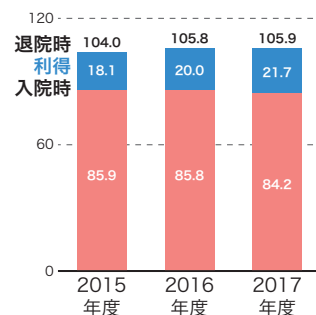
## ◆ 全入院患者



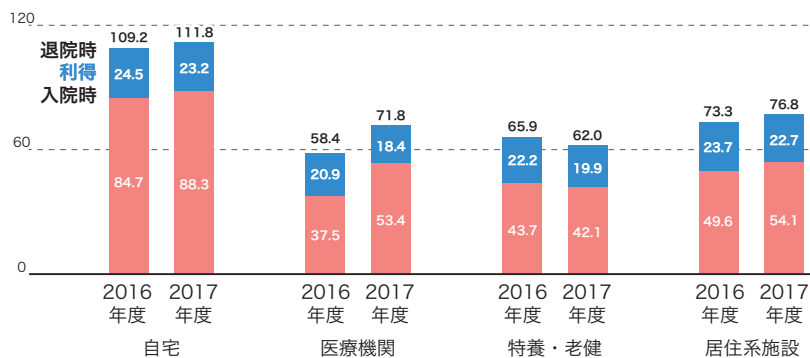
## ◆ 脳血管障害



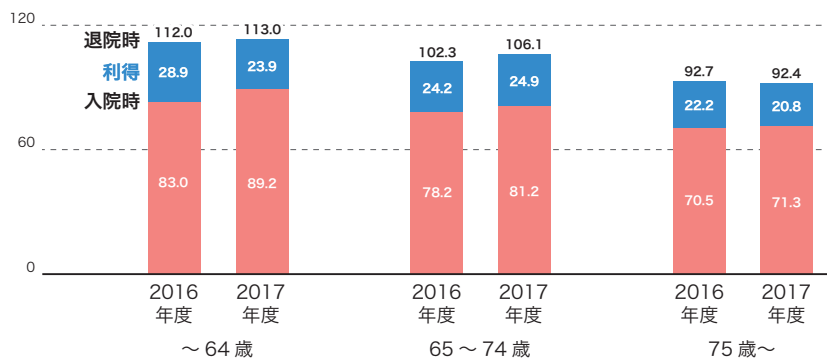
## ◆ 運動器障害



## ◆ 退院先別

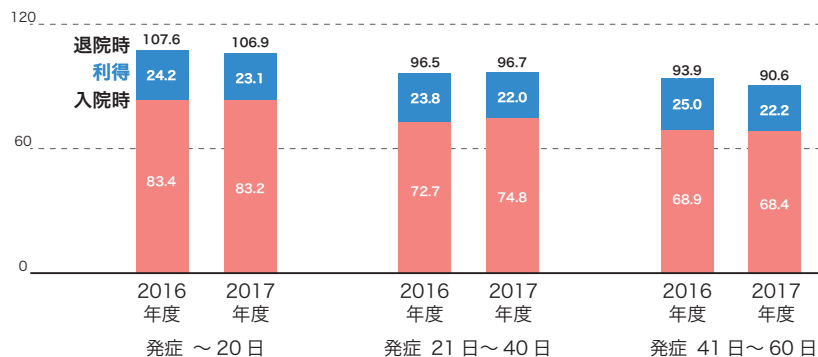


## ◆ 年齢別

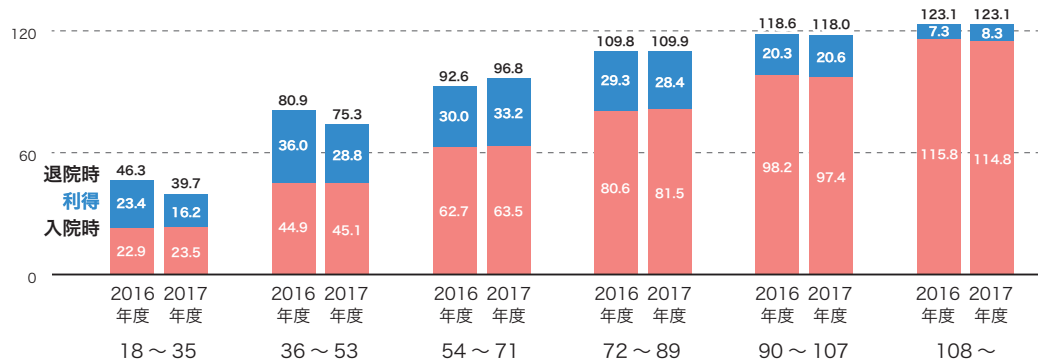


## 改善度 (FIM 利得)

### ◆ 発症から入院までの期間別

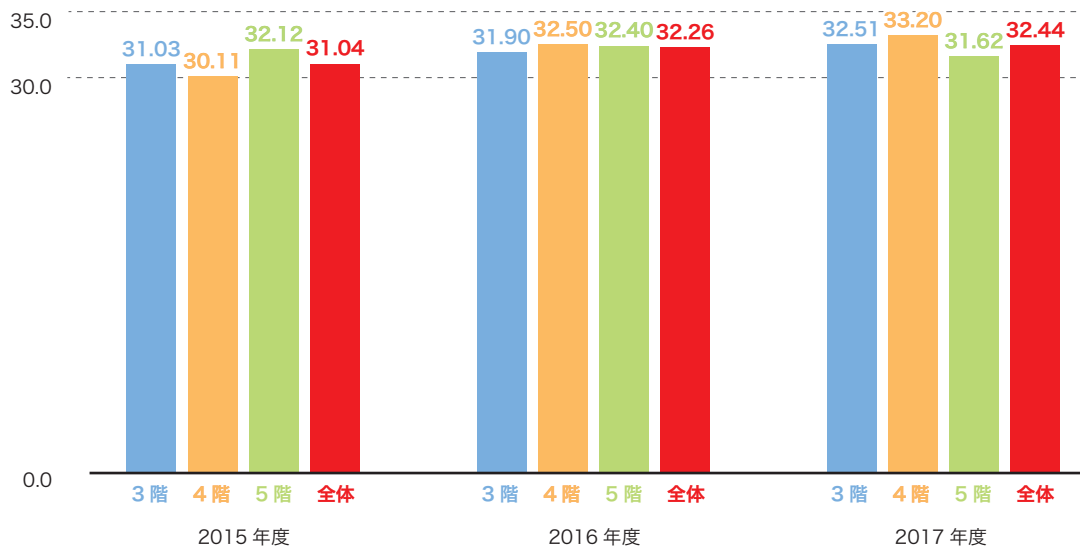


### ◆ 入院時 FIM 点数別

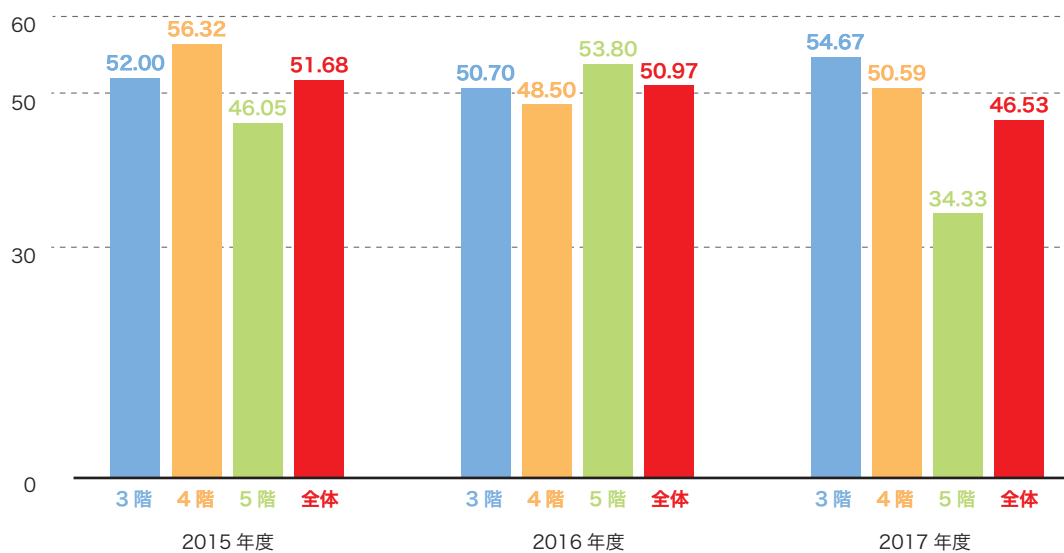


## 日常生活機能評価（B項目）

### ◆重症者比率（B項目）



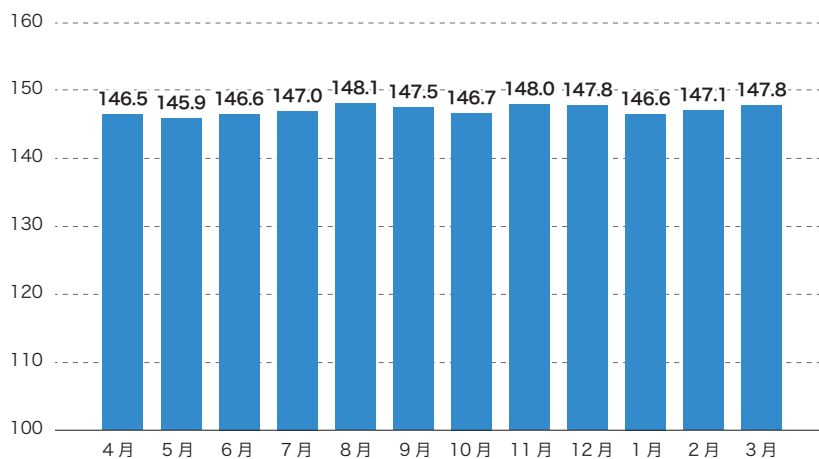
### ◆4点改善率



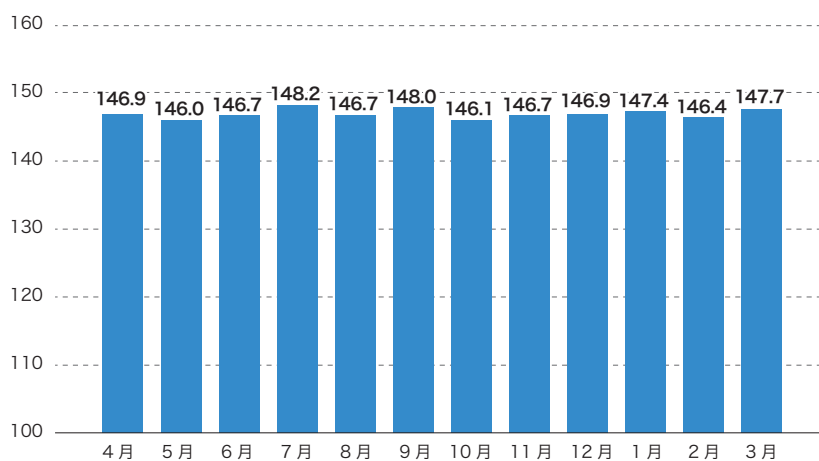


## 平均 1 日入院数

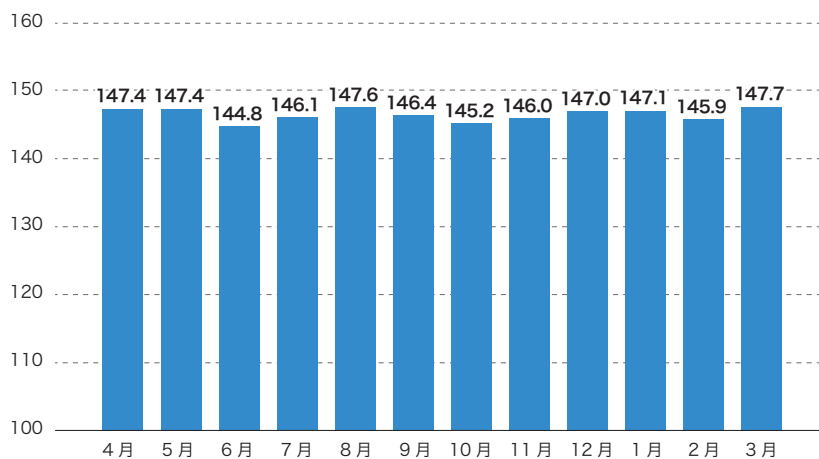
### ◆ 2017 年度 年間平均 147.1 (人)



### ◆ 2016 年度 年間平均 147.0 (人)



### ◆ 2015 年度 年間平均 146.6 (人)



## 入院リハビリテーション単位数

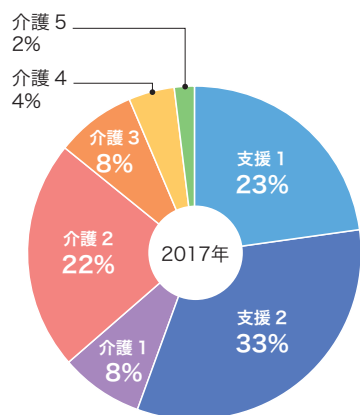
	2015年度	2016年度	2017年度
総単位数（平均）	37,350	36,702	36,288
日当たり	1,225	1,203	1,193
PT	16,580	16,574	16,729
OT	13,835	13,465	13,429
ST	6,935	6,663	6,131
1人1日	8.45	8.22	8.13
PT	3.75	3.71	3.75
OT	3.13	3.01	3.01
ST	1.57	1.49	1.37
脳血管	8.69	8.46	8.56
運動器	7.69	7.21	6.71

## 摂食機能療法と栄養

	2015年度	2016年度	2017年度
摂食機能療法件数単位 (加算も含む)	9,461 単位	8,929 単位	8,721 単位
経口摂取促進加算	3,135 単位	3,169 単位	2,590 単位
経管栄養抜去率	50.0%	50.0%	54.4%
摂食機能療法対象者数	268 名	249 名	168 名
年間VF実施件数	353 件	360 件	310
VF実施率	76.9%	74.3%	73.8%
栄養指導件数	253	315	251
褥瘡2度以上発生件数	30	21	11

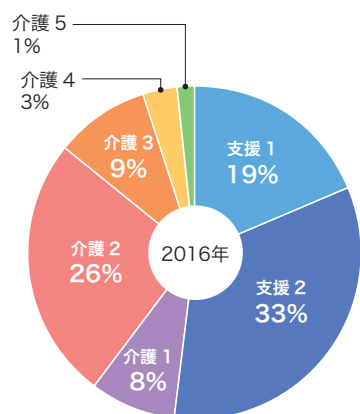
## 通所リハ要介護度利用者比率

### ◆ 2017



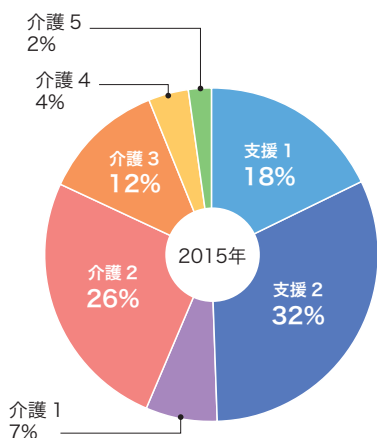
	[人]
支援 1	52
支援 2	74
介護 1	18
介護 2	50
介護 3	18
介護 4	10
介護 5	4

### ◆ 2016



	[人]
支援 1	39
支援 2	69
介護 1	17
介護 2	53
介護 3	19
介護 4	7
介護 5	3

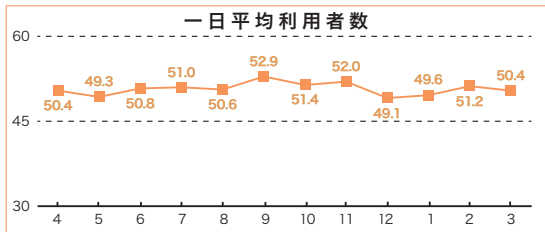
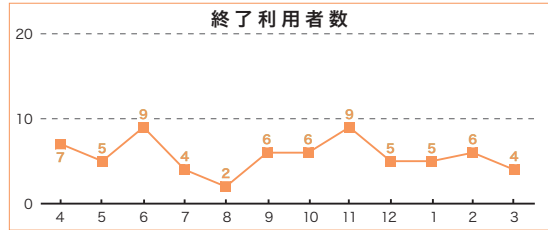
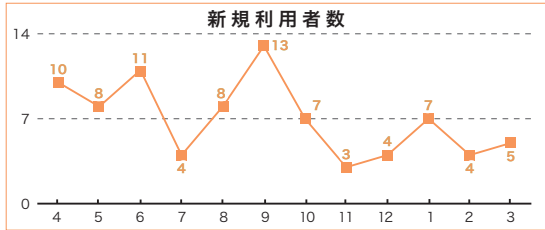
### ◆ 2015



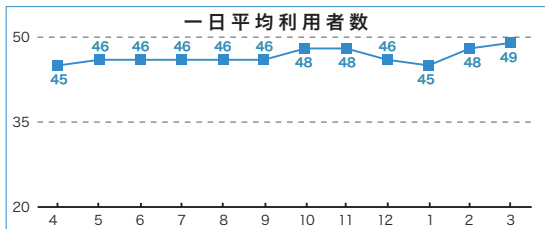
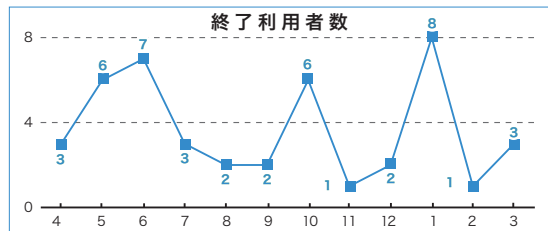
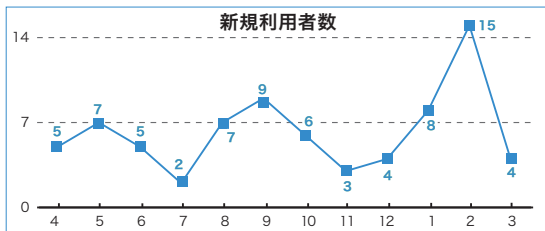
	[人]
支援 1	39
支援 2	68
介護 1	15
介護 2	55
介護 3	25
介護 4	8
介護 5	5

# 通所リハ利用者数

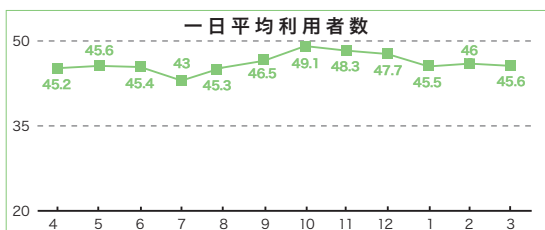
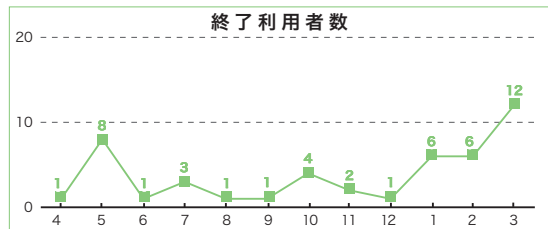
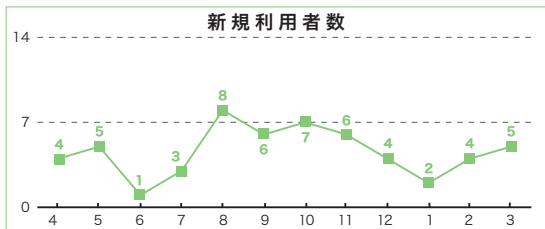
## ◆ 2017



## ◆ 2016

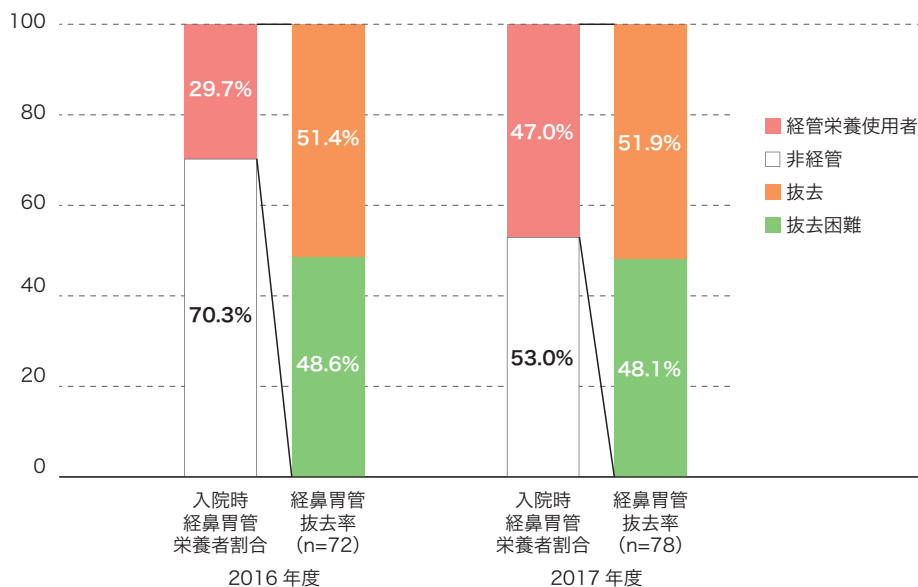


## ◆ 2015



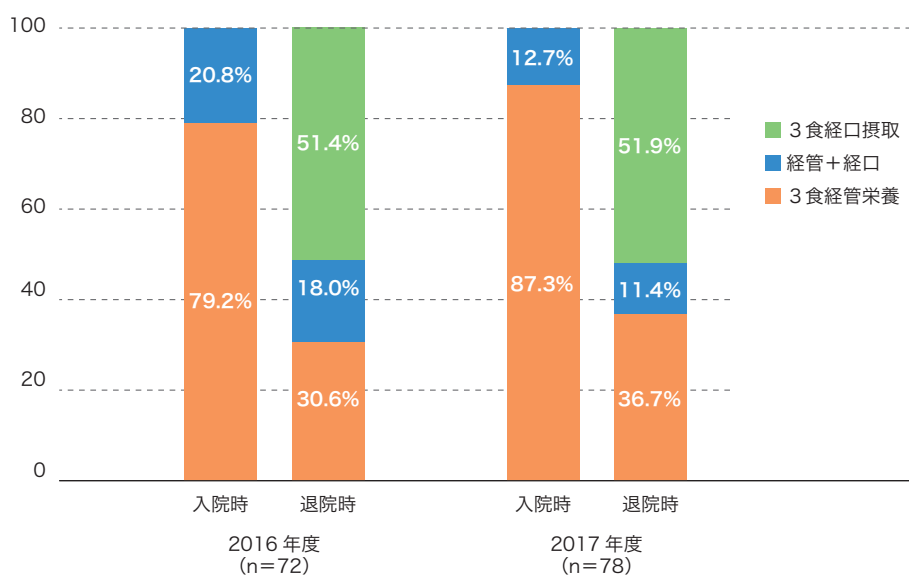
## 言語聴覚部門

### ◆ 入院時経鼻胃管栄養者割合と経鼻胃管抜去率



※ 2017年度摂食機能療法対象者 168名。うち、入院時経管栄養（胃瘻含む）使用者 79名、経口摂取 89名。経管栄養使用 79名のうち、抜去できた 41名、抜去できなかった 38名。

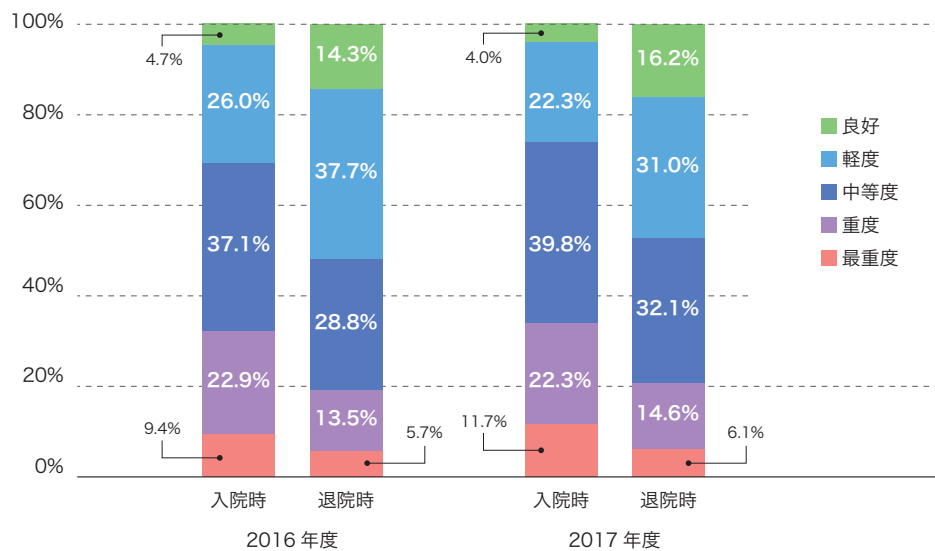
### ◆ 入院時3食経管栄養者の改善



※嚥下グレード1～3を3食経管栄養、4～6を経管+経口、7～10を3食経口摂取とした。

# 言語聴覚部門

## ◆ CBA重症度別変化



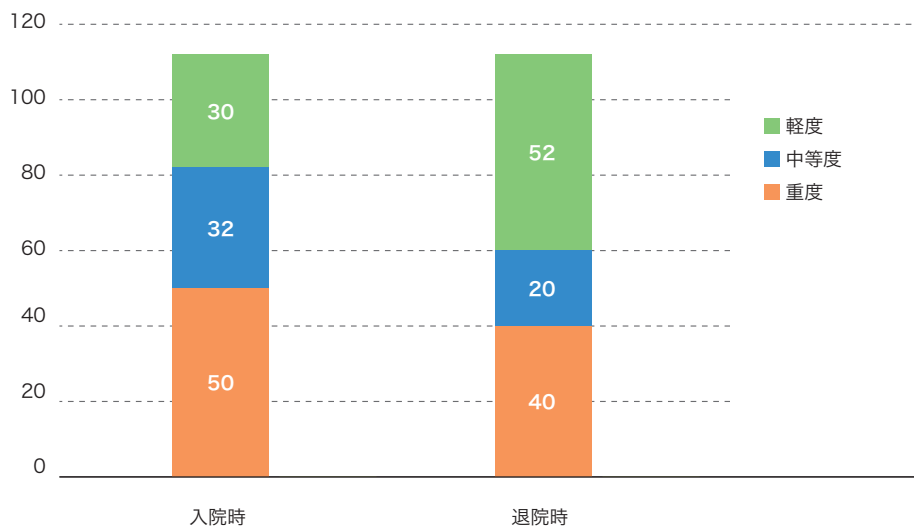
CBA … 認知関連行動アセスメント

意識・感情・注意・記憶・判断・病識の6項目を1(最重度)～5(良好)、計30点で採点する。  
 (6～9点 最重度・10～15点 重度・16～21点 中等度・22～27点 軽度・28～30点 良好)



## 言語聴覚部門

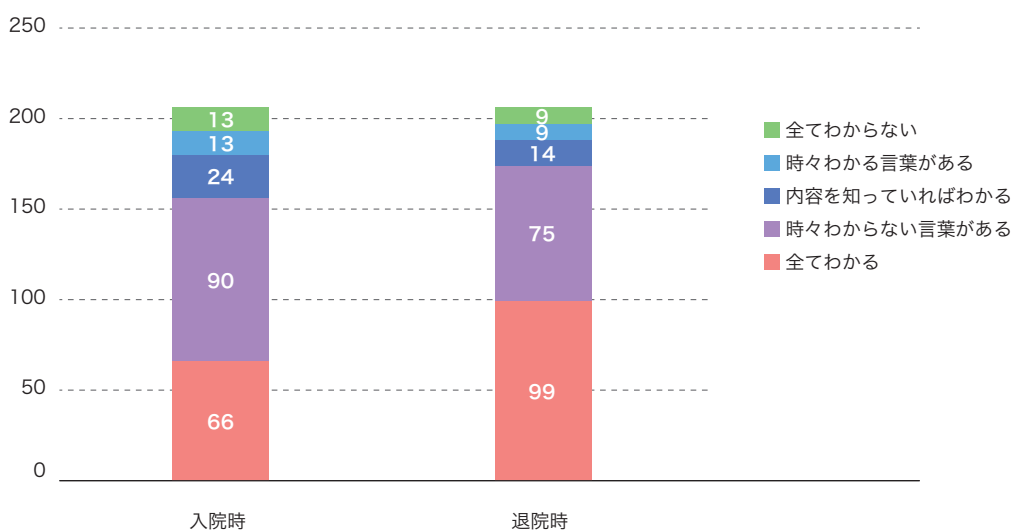
### ◆失語症の改善 (n = 116名)



※失語症者 116 名中 SLTA 実施できた 112 名

※ SLTA 評価点 0～3 点を重度、4～7 点を中等度、8～10 点を軽度とした

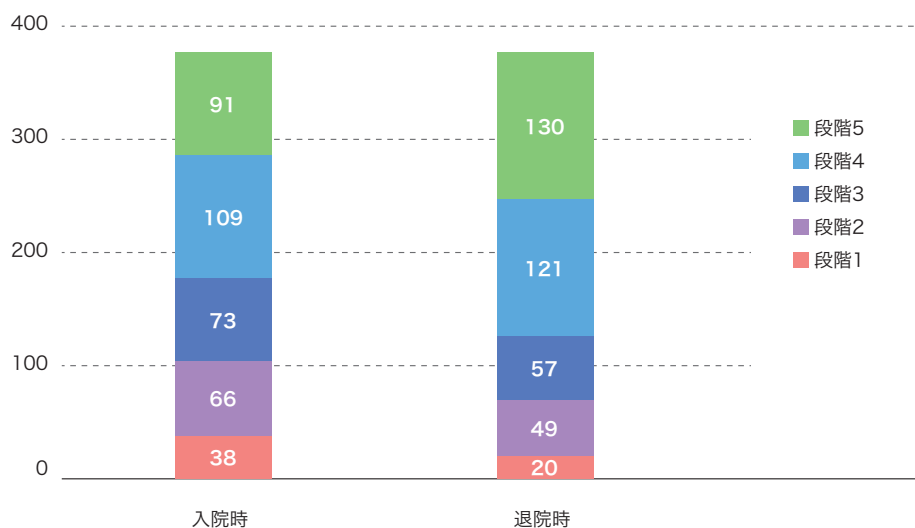
### ◆発話明瞭度の改善 (n = 206名)



※構音障害 206 名

## 言語聴覚部門

### ◆ コミュニケーション能力の改善 (n = 377 名)



※ ST リハを行った者 (n=377 名)

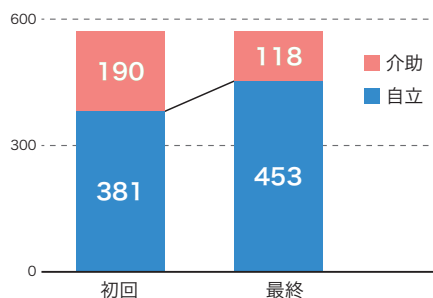
※全員記載すること

### ◆ コミュニケーション段階評価

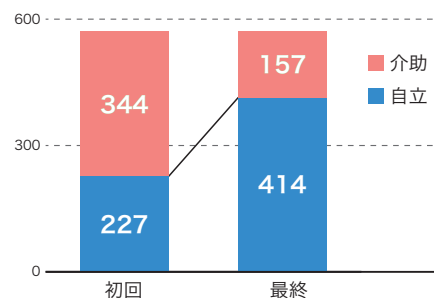
段階 5	良好	全てやりとりできる (就労レベル)
段階 4	軽度	ほとんどやりとりできる (日常生活に必要なレベル)
段階 3	中等度	半分やりとりできる (他者援助を一部受けながら成立するレベル)
段階 2	重度	わずかなやりとりができる (他者援助を十分に受け身辺的なやりとりが成立するレベル)
段階 1	最重度	ほぼ不能 (他者援助を受けてもやりとりが難しいレベル)

## 作業療法部門（できる FIM の改善の変化）（n = 571 名）

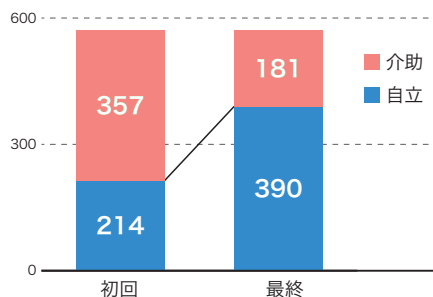
### ◆ 食事動作の改善



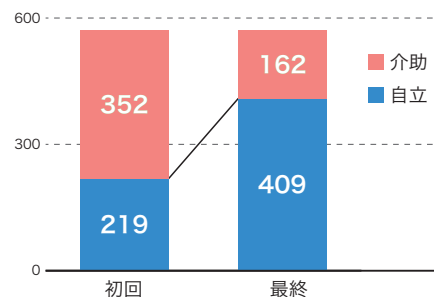
### ◆ ベッド・車椅子移乗動作の改善



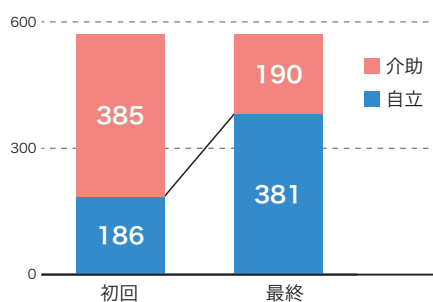
### ◆ 更衣（上）動作の改善



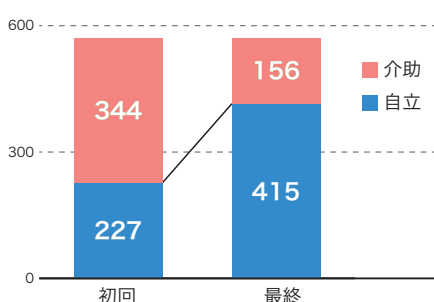
### ◆ トイレ動作の改善



### ◆ 更衣（下）動作の改善



### ◆ トイレ移乗動作の改善

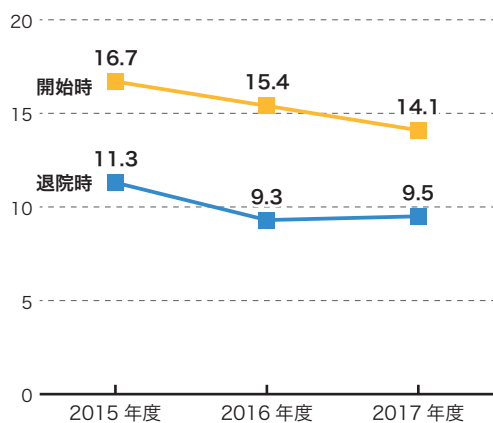


n = 571 名（治療転院を除く）  
 できる FIM の改善の変化  
 初回できると最終できるの比較

# 理学療法部門

## ◆ 10m 歩行時間 (10m を最速で歩いた際の時間)

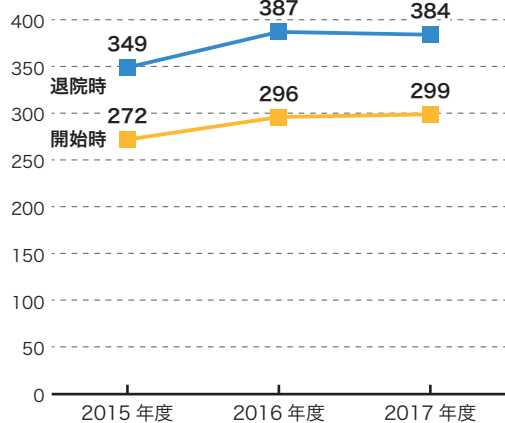
単位：秒



	2015年度	2016年度	2017年度
開始時	16.7	15.4	14.1
退院時	11.3	9.3	9.5
n	283	290	252

## ◆ 6MD (6分間を連続で歩いた距離)

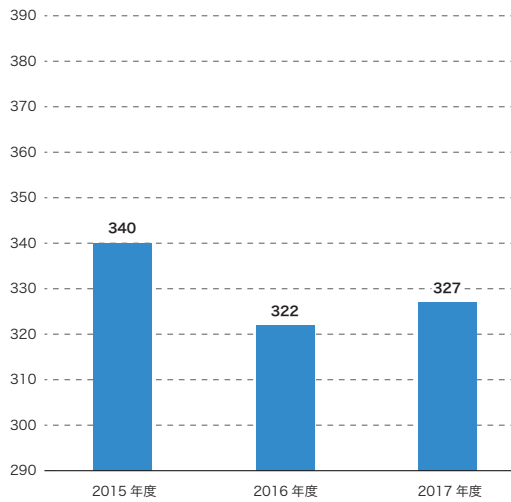
単位：m



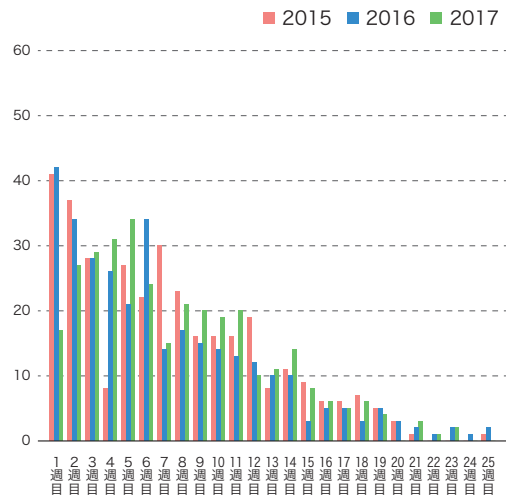
	2015年度	2016年度	2017年度
開始時	272	296	299
退院時	349	387	384
n	188	193	171

# 転倒について

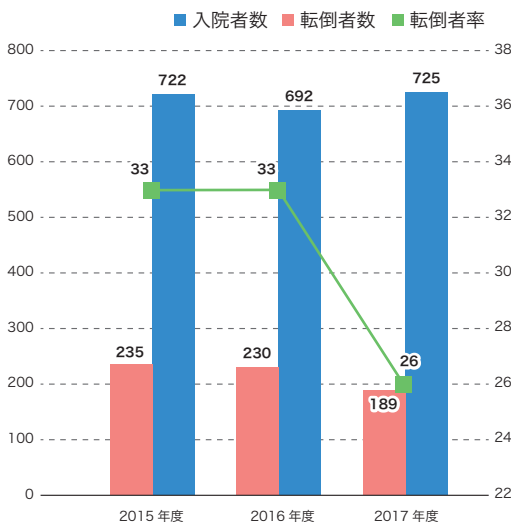
## ◆ 転倒件数



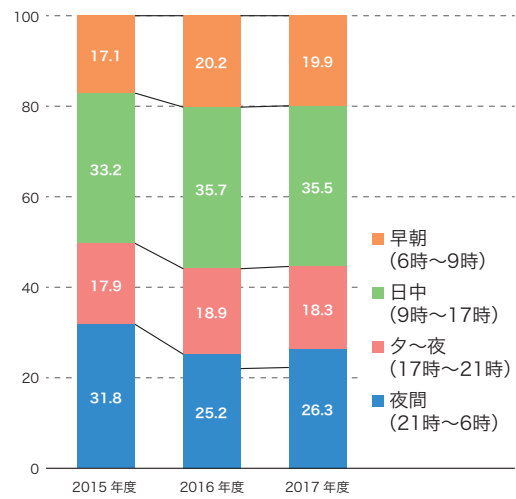
## ◆ 入院からの日数



## ◆ 転倒者数、転倒者率

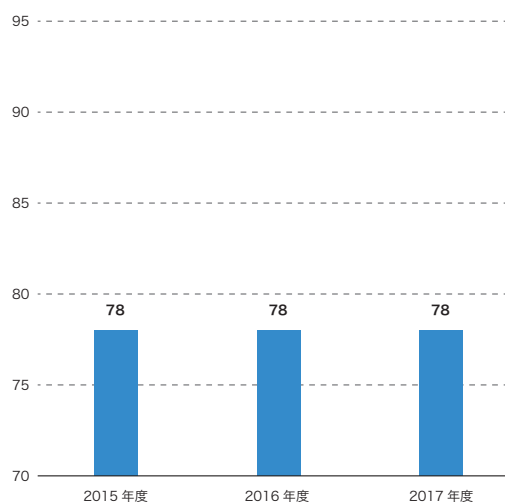


## ◆ 時間帯別(割合)

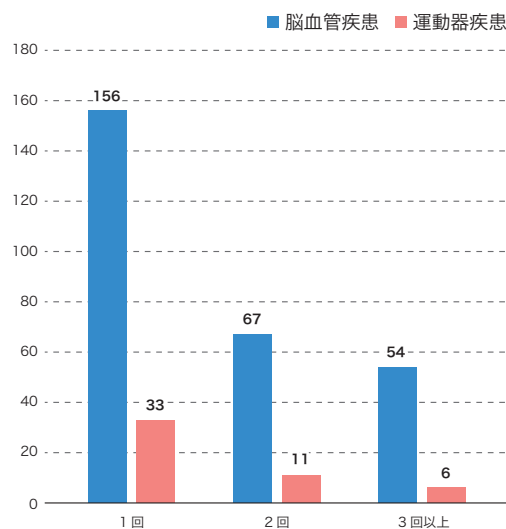


# 転倒について

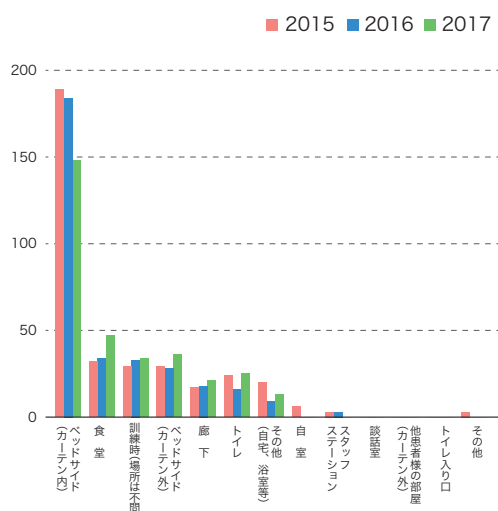
## ◆ 複数回転倒者数



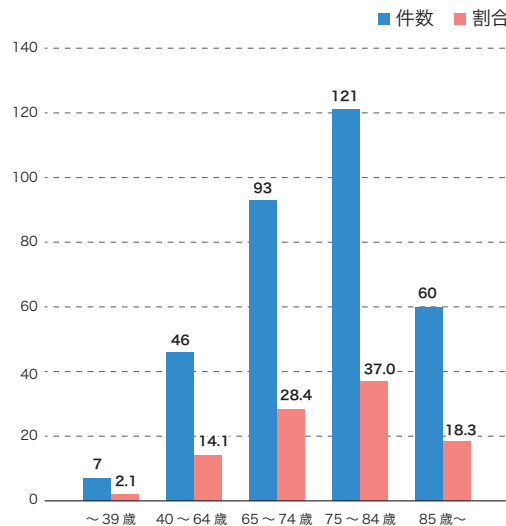
## ◆ 疾患別転倒回数



## ◆ 場所別件数



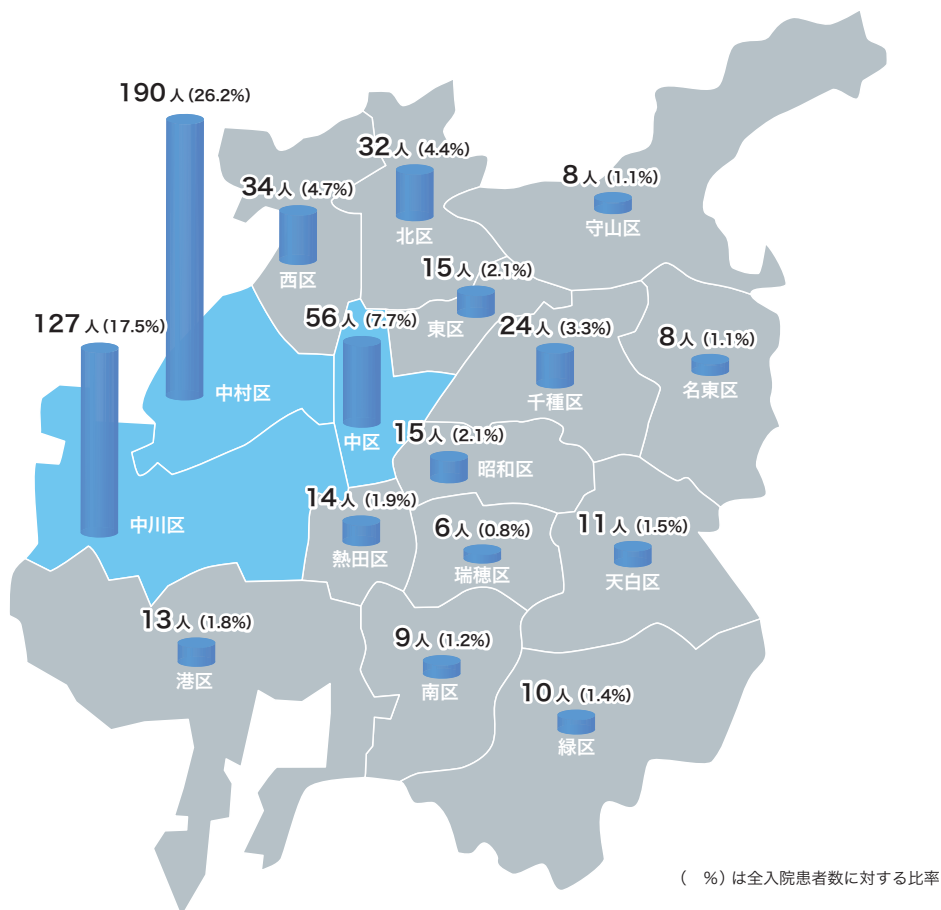
## ◆ 年齢別転倒数





# 入院前居住地 (2017年)

## ◆ 名古屋市内 (総数 572人 / 全入院患者(725人)の 78.9%)



## ◆ 名古屋市外 (総数 129人 / 全入院患者(725人)の 17.8%)

	[人]	[%]*
愛西市	4	0.6
あま市	38	5.2
一宮市	2	0.3
稲沢市	3	0.4
海部郡	38	5.2
春日井市	5	0.7
北名古屋市	3	0.4
清須市	11	1.5

	[人]	[%]*
小牧市	6	0.8
津島市	10	1.4
豊田市	1	0.1
尾張旭市	2	0.3
刈谷市	1	0.1
半田市	2	0.3
長久手市	3	0.4

## ◆ 県外 (総数 24人) (全入院患者(725人)の 3.3%)

	[人]	[%]*
岡山県	1	0.1
東京都	1	0.1
広島県	1	0.1
山梨県	1	0.1
岐阜県	11	1.5
三重県	7	1.0
住所不定	2	0.3

\*全入院患者数に対する比率

医療法人 珪山会

**鵜飼リハビリテーション病院**

〒453-0811 名古屋市中村区太閤通 4-1

TEL. 052-461-3132

<http://ukaireha.kzan.jp/>